

12 2025
月号 令和7年

No.573

ちば



チーバくん

県民 だより

毎月5日発行（1月のみ1日発行）

目次

- ・多様なパートナーと築く
スタートアップコミュニティ 2面
- ・ふるさと納税で届けよう！
県立学校チャレンジ応援基金 3面
- ・人をつなぎ、笑顔と安心を届ける
民生委員・児童委員 ほか 4～5面
- ・県民ひろば 6～7面
- ・どこ行く？／旬のレシピ／
ちばの星／クイズ&プレゼント 8面



今月のプレゼント

チーバくん
特製
クオカード

50
人

詳しくは、8面「クイズ&プレゼント」へ

千葉県庁

代表電話 043-223-2110

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp>

編集・発行／千葉県総合企画部報道広報課
〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号
☎043-223-2241 ㊚043-227-0146

（県人口）6,279,269人（対前月比2,081人増）
男3,108,947人／女3,170,322人

（世帯数）2,958,222世帯（対前月比3,982世帯増）

〔令和7年11月1日現在〕

掲載の情報は令和7年11月21日（金）時点のものです。

千葉県ホームページ



ちば県民だより、
マチイロ

千葉県LINE公式アカウント



千葉県広報X



千葉県防災X



スタートアップを**全力**でサポート！

CHiBA INNOVATION *Crossing*

スタートアップと多様な主体が交差し、
イノベーションが生まれる、“**共創の交差点**”へ



※スタートアップ総合支援拠点事業キックオフイベントの様子。詳しくは2面へ



知事メッセージ

県民の皆さまへ

冬になり、新海苔の季節となりました。今、私たちが食べている「乾のり」が本格的に登場したのは享保年間（1700年頃）といわれています。千葉県の海苔づくりは1800年頃に始まり、「色よし・味よし・香りよし」の江戸前海苔として高い評価を得てきました。私も千葉の海苔が大好きなので、新海苔の季節を楽しみにしています。

そんな千葉の海苔ですが、近年の海水温の上昇などさまざまな課題に直面しており、それを乗り越えるための新品種の開発など、養殖環境の変化に適応した生産体制の整備や技術開発、担い手対策に関係者とともに取り組んでいます。

地球温暖化に伴う海水温の上昇などといった漁場環境が変化する中、千葉県では再来年に「全国豊かな海づくり大会」が開催されます。国民スポーツ大会、全国植樹祭などと並ぶ、天皇・皇后両陛下がご臨席される国民的行事として、毎年各都道府県の

持ち回りで開催され、千葉県は2度目となります。

平成4年に勝浦市で1度目の大会を開催したことで、つくり育てる漁業の機運が醸成され、その後の漁業生産を維持するための種苗生産体制が整備される契機となりました。

令和9年に銚子市・旭市で開催される2度目の大会は、三方を海に囲まれた海洋県として、豊かな海や河川・湖沼などがもたらす恵みを次世代に引き継ぐため、つくり育てる漁業やブルーカーボンの創出など、官民一体となった取り組みを推進する絶好の機会となります。

また、大会や関連イベントを通じて、本県の豊かな海や河川などといった自然環境の保全に対する県民の意識向上につなげていきたいと考えていますので、皆さまにもぜひご関心を持っていただければ幸いです。

千葉県知事

くま がい とし ひと
熊谷俊人